



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社
 コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若山 健彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部門長 (氏名) 三宅 哲史
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5847-2030

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,917	28.4	122	12.6	135	11.3	112	2.9
2019年3月期第3四半期	12,450	22.6	108	34.7	152	1.7	115	13.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 94百万円 (10.9%) 2019年3月期第3四半期 106百万円 (1.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	15.08	
2019年3月期第3四半期	15.52	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,627	2,637	29.6
2019年3月期	9,815	2,559	25.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,551百万円 2019年3月期 2,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日(2020年2月7日)公表の「2020年3月期の配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	8.5	190	19.9	140	27.6	100	5.5	13.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	7,447,914 株	2019年3月期	7,447,914 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	44 株	2019年3月期	3,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	7,440,375 株	2019年3月期3Q	7,444,846 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善傾向が続くなか、緩やかな回復基調で推移しておりますが、米中の通商問題が長引くことによる世界経済への影響など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、メモリーモジュール関連事業のセグメント利益（営業利益）が前年同期を上回る実績となった一方で、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業及びシステム開発関連事業においては前年同期を下回って推移いたしました。

営業外収益としましては、日本サインホールディングス株式会社に対する持分法による投資利益28百万円を計上し、営業外費用としましては、当第3四半期連結累計期間における為替変動により、当社グループが保有する外貨建資産価値が減少したことによる為替差損10百万円を計上いたしました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,917百万円と前年同期と比べ3,532百万円（28.4%）の減収になったものの、営業利益は122百万円と前年同期と比べ13百万円（12.6%）の増益となりました。経常利益は135百万円と前年同期と比べ17百万円（11.3%）の減益、特別利益に関係会社株式売却益7百万円を計上し、法人税等を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は112百万円と前年同期と比べ3百万円（2.9%）の減益となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①メモリーモジュール関連

メモリーモジュール関連事業については、主要製品のDIMM（Dual Inline Memory Module）及びSSD（Solid State Drive）の主要調達部材であるDRAM、NANDともに新世代品の歩留り向上や製品需要の後退により、一昨年から価格下落が続いておりました。しかしながら、米中貿易摩擦の第一段階合意による中国の需要拡大やデータセンター向けサーバー投資の再開、5G需要によるメモリー・ストレージの容量増大への期待からメモリーの品薄感が高まり、足元ではDRAM、NAND価格が反転しております。

これらの状況の中、当セグメントの売上高は7,492百万円と前年同期と比べ3,525百万円（32.0%）の減収となったものの、本年1月のWindows7サポート終了によるPC買い換え需要の増加により、国内PCメーカー向けDIMM及びSSDの販売が伸びたこともあり、セグメント利益（営業利益）は393百万円と前年同期と比べ78百万円（25.0%）の増益となりました。

②デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連

デバイスプログラミング関連事業については、プログラム本体の販売が前年同期を上回りましたが、消耗品の変換アダプタ販売は前年同期を下回る実績となりました。また、大型設備機器関連については、設備投資の先送りの影響でオートハンドラが前年同期を下回る販売実績となりました。なお、第4四半期にはオールインワンハンドラの車載メーカーへの納入を予定しております。ROM書込みサービスにつきましては、作業効率化の推進により安定的に利益を計上できる体制を構築しており、前年同期を上回る実績となりました。

ディスプレイソリューション関連事業については、自動販売機向けタッチパネルの受注台数が前年同期に比べ減少したものの、企業のショールームや商業施設向け大型特注タッチパネル及びATM向けタッチパネルの受注が安定的に推移したほか、公共施設向けの大型デジタルサイネージの受注が拡大し、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は878百万円と前年同期と比べ20百万円（2.2%）の減収となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、昨年4月に設立したジャパンデジタルサイネージ株式会社の費用計上もあり、18百万円の損失（前年同期49百万円の利益）となりました。

③システム開発関連

システム開発関連事業については、従来の技術支援型（人材派遣型）案件において安定的な受注を獲得することができ、堅調に推移したものの、受託開発案件において取引先の予算縮小等の影響を大きく受けました。また、昨年12月に実施した株式会社イーアイティの当社移転費用及び中途採用の活動を強化したことの影響もあり、前年同期を下回る実績となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は461百万円と前年同期と比べ48百万円（9.5%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は33百万円と前年同期と比べ9百万円（23.0%）の減益となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、ウェブサイトの構築等を営む日本ジョイントソリューションズ株式会社、企業の買収等の斡旋や仲介及びこれらに関するコンサルティング業務等を行うミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社に加え、LED照明受注販売等の環境エレクトロニクス関連事業等を展開しております。

また、新規事業として取り組んでいるインテリジェント・ステレオカメラ事業については、複数の取引先と多様な用途での実証実験を引き続き進めており、今後、量産体制を構築してまいります。

当セグメントの売上高はウェブサイト構築コンサルティングの新規受注等により106百万円（前年同期54百万円）と増収となりましたが、インテリジェント・ステレオカメラ事業に係る設備の償却負担等により、セグメント利益（営業利益）は5百万円の損失（前年同期28百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15.1%減少し、6,893百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が851百万円、仕掛品が26百万円、原材料及び貯蔵品が169百万円、その他が34百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が1,948百万円、商品及び製品が29百万円、前渡金324百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%増加し、1,732百万円となりました。これは、のれんが28百万円減少しましたが、有形固定資産その他が27百万円、投資有価証券が22百万円、関係会社株式が23百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

繰延資産は、社債発行費の1百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて12.1%減少し、8,627百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.6%減少し、4,610百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が174百万円、短期借入金が637百万円、1年内返済予定の長期借入金が90百万円、未払金が64百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて17.1%減少し、1,378百万円となりました。これは、社債が15百万円、長期借入金が266百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて17.5%減少し、5,989百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.0%増加し、2,637百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益を112百万円計上したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想から変更しておりません。

なお、2020年1月28日付リリース「日本サインホールディングス株式会社の株式等譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて開示した通り、第4四半期において約33百万円の特別利益が発生する見込みです。2020年3月期の通期連結業績予想につきましては現在精査中であり、業績予想の修正が生じる場合には適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,346,316	1,397,881
受取手形及び売掛金	2,281,682	3,132,994
商品及び製品	700,339	671,039
仕掛品	70,193	96,715
原材料及び貯蔵品	982,266	1,151,882
前渡金	439,194	114,408
その他	309,517	344,258
貸倒引当金	△14,510	△15,819
流動資産合計	8,115,000	6,893,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	980,297	979,109
減価償却累計額	△854,710	△860,835
建物及び構築物（純額）	125,586	118,273
土地	635,450	635,450
その他	342,615	428,956
減価償却累計額	△125,582	△183,949
その他（純額）	217,033	245,006
有形固定資産合計	978,070	998,730
無形固定資産		
のれん	75,601	47,250
リース資産	11,974	8,034
その他	30,557	28,557
無形固定資産合計	118,133	83,842
投資その他の資産		
投資有価証券	106,647	128,990
関係会社株式	198,523	222,240
敷金及び保証金	237,583	236,782
破産更生債権等	41,834	41,034
繰延税金資産	31,521	24,379
その他	27,987	37,194
貸倒引当金	△41,834	△41,037
投資その他の資産合計	602,263	649,584
固定資産合計	1,698,467	1,732,158
繰延資産		
社債発行費	1,899	1,492
繰延資産合計	1,899	1,492
資産合計	9,815,367	8,627,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	746,783	572,352
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	4,077,262	3,440,000
1年内返済予定の長期借入金	468,658	378,255
未払金	153,007	88,476
リース債務	3,212	7,653
未払法人税等	48,471	40,682
賞与引当金	27,089	11,611
製品保証引当金	1,020	670
その他	37,502	40,874
流動負債合計	5,593,008	4,610,575
固定負債		
社債	75,000	60,000
長期借入金	1,391,406	1,125,003
退職給付に係る負債	82,573	90,786
リース債務	14,542	4,339
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	4,500	3,941
固定負債合計	1,662,450	1,378,500
負債合計	7,255,458	5,989,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	993,003
資本剰余金	1,384,742	1,377,855
利益剰余金	167,534	263,553
自己株式	△1,553	△13
株主資本合計	2,543,726	2,634,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,739	△3,354
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△2,126	△5,550
その他の包括利益累計額合計	△77,847	△82,886
新株予約権	70,603	86,423
非支配株主持分	23,426	—
純資産合計	2,559,908	2,637,935
負債純資産合計	9,815,367	8,627,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	12,450,496	8,917,770
売上原価	11,414,726	7,809,022
売上総利益	1,035,770	1,108,748
販売費及び一般管理費	926,796	985,990
営業利益	108,973	122,757
営業外収益		
受取賃貸料	17,757	12,908
為替差益	33,924	—
持分法による投資利益	10,377	28,690
その他	6,092	6,632
営業外収益合計	68,151	48,231
営業外費用		
支払利息	19,795	18,424
為替差損	—	10,069
その他	4,411	6,799
営業外費用合計	24,206	35,293
経常利益	152,918	135,696
特別利益		
関係会社株式売却益	—	7,476
新株予約権戻入益	3,415	—
その他	826	—
特別利益合計	4,242	7,476
特別損失		
固定資産除却損	394	663
特別損失合計	394	663
税金等調整前四半期純利益	156,766	142,509
法人税、住民税及び事業税	33,517	35,260
法人税等調整額	5,357	7,263
法人税等合計	38,874	42,524
四半期純利益	117,891	99,985
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,350	△12,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	115,540	112,231

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	117,891	99,985
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,209	△1,614
為替換算調整勘定	△2,164	△3,424
その他の包括利益合計	△11,374	△5,039
四半期包括利益	106,517	94,945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,166	107,191
非支配株主に係る四半期包括利益	2,350	△12,246

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	メモリーモジュール 関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,005,376	893,653	497,705	12,396,735	53,760	12,450,496	—	12,450,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,610	4,650	12,152	29,413	1,206	30,619	△30,619	—
計	11,017,986	898,303	509,858	12,426,149	54,966	12,481,116	△30,619	12,450,496
セグメント利益又は 損失(△)	315,117	49,843	43,037	407,998	△28,540	379,457	△270,483	108,973

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△270,483千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	メモリーモジュール 関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,485,727	873,245	456,206	8,815,179	102,591	8,917,770	—	8,917,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,406	4,875	5,331	16,612	4,346	20,958	△20,958	—
計	7,492,133	878,120	461,537	8,831,792	106,937	8,938,729	△20,958	8,917,770
セグメント利益又は 損失(△)	393,796	△18,729	33,143	408,211	△5,624	402,586	△279,829	122,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△279,829千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。